

今日から試せる! PR&販促講座

～成熟市場における競争戦略を見出す美容マーケティング～

VOL.23

年齢とともに高まる大人世代のインナービューティー志向

～美容はアンチエイジングから予防医学の観点へ～

松下令子（まつしたれいこ）

美容専門PR・販促支援会社 株式会社DSプロモーション代表取締役/美容マーケッタ

メディア広報代行、医療機関向け販促、集客支援事業を展開。インスタグラマー、ブロガーを対象にした体感会運営、SNS拡散などリアルとWEBを融合させた新たなスタイルのPR事業も展開。自身は美容マーケッターとしてコンサルティング、講演等でも活動。現在、ファッション誌「GINGER」のWEBメディア「Spark GINGER」(幻冬舎)
<https://www.spark-ginger.jp/>にて「30代からのモテスキル」コラム連載中。

プロフェッショナルインストラクター(一般社団法人日本酵素・水素医療美容学会)

【株DSプロモーション】 <http://www.ds-p.net/> TEL:03-3453-8163



わゆる「大人世代」の女性を対象に、「美容と生活習慣」に関するアンケート、ヒアリングインタビュー調査を行いました。毎年行っている調査および解析ですが、食生活への関心が年々高まりその内容も益々レベルアップしている印象です。

「若々しくするためには必要なことは?」と尋ねたところ、質的睡眠、食事に配慮すると答えた人が最も多く、約6割を占めました。適度な運動を心掛ける人も4割以上いました。また、年代が高くなるほど、身体面だけ

勉強など向学心を持つ事で心の充足を図る傾向がみられました。その他、ファッシュンセンスを磨いたり、普段からスキンケアやボディケアを心がけたり見た目も配慮する人も増えています。このように、日頃の生活習慣を通じて、外見、面、精神面の全体をケアし、若さや健康の維持につなげていくトータルバランス型が主流になりつつあります。

中でもとりわけ昨今目立つて高まっているのが「食生活」に関する意識と知識です。最近のメディア等の影響

水素への関心、良い油、悪い油、高G.I.値の全
材……など、かつては
美容関心層の一部が使
ついていたような専門用
語を一般の人も当たり前に使つよう
になります。ま
た、かつての食生活の
健康トレンドは「○○
を食べる」と血液がサニ
サフ」「○○が肌に良
い」といった「摂取」
することにポイントが
ありました。しかし今
は、食品添加物や加工
品を常に口にする時
なので、いかにそうし
た毒素を排出するか?
といった「排出・解毒」
の視点が加わってき

つあります。解毒出を促す行為として大人世代だけでなく年層にもファスティングがトレンドとなついるのもその流れか来ていると考えられます。その美容・健康に向に伴い、知識取得目的とした食に関する資格や講座の種類や講人数も大人世代を象に増加傾向にあります。

らしている事も要因に挙げられます。目指すのは、死ぬ直前まで周囲に迷惑をかけず、現役に近い自分自身。だからこそ、老化に対する抗うのではなく、老化をいかにローダウンさせるか？ 若返り、アンチエイジングではなく予防する観点にシフトしつつあります。

その過程や延長線上に「若々しくいる」すなわち「美容」という概念があり、それが「楽しみ」である。健康が美容に直結することを身を持って実感する世代こそ、その美容観とともにいえるのでしょう。